


2021年10月12日
2021年12月期 業績予想修正 カンファレンスコール 説明要旨



**2021年12月期 業績予想修正
説明資料**

2021年10月12日
日本ペイントホールディングス株式会社
NIPPON PAINT GROUP

皆様こんにちは。日本ペイントホールディングス 共同社長若月です。

本日は急なお知らせにも関わらずご参集いただき、誠にありがとうございます。本日 15 時 30 分に公表しました 2021 年 12 月期 業績予想の修正についてご説明いたします。

まず、本日の業績予想の修正に至った背景をご説明します。今年の 8 月 10 日に業績予想を上方修正した時点では、NIPSEA 中国や Betek Boya 社の汎用事業で好調な市況が継続、日本を除いたその他地域でも堅調な需要、ただし日本市場のみコロナ影響もあり需要が弱いと想定していました。さらに為替の円安推移もあり、売上収益を 8,900 億円から 1 兆 100 億円に上方修正しました。

営業利益については、国内外での原材料の不足や価格高騰を一定程度織り込んでいましたが、第 3 四半期でのピークアウトを前提、そして第 4 四半期では大分落ち着きを取り戻す、と想定していました。その前提で 870 億円から 1,020 億円へと上方修正しましたが、その中身は、大まかには各地域での増収効果とコスト削減効果が約 60 億円、本部費用削減効果が約 60 億円、そして子会社の譲渡影響が約 30 億円という内訳でした。

直近の状況としては、売上収益は多少凸凹あるものの、基本ほぼ同様の数字が見込まれ、予想を 1 兆円としました。全般に汎用事業は堅調という図式は変わらず、中国の汎用事業も 8 月の想定より若干上振れをしています。

一方、自動車用事業は、自動車生産について、各地で半導体不足やコロナ影響による部品調達問題から、特に 9、10 月に減産となった結果、当社売上収益も想定より低下しており、全事業で見るとほぼ横ばいを見込んでいます。

一方、利益については、残念ながら 8 月の想定であった第 3 四半期でピークアウトするというシナリオは外れ、むしろ本日現在でも原油価格は上昇を継続しています。またその他の原材料でも上昇傾向は続いており、9 月末の第 3 四半期の速報値ベース及び第 4 四半期の見込みを試算すると、相応に 8 月予想からは下振れすることが判明しました。

11 月の第 3 四半期決算発表まで待てば、もう少し詳細をご説明できる可能性はありましたが、まずはタイムリーディスクロージャーを心掛け、株式市場へ一報をするべきとの判断から、本日、業績予想修正を発表しました。

このような背景から、数字的には多少粗い箇所がある点、ご注意ください。

1-1. 本日のサマリー

(億円)	短信ベース					
	2020年 実績	2021年 2月時点	2021年 8月時点	2021年 10月時点 (今回)	実績 vs 10月時点	8月時点 vs 10月時点
売上収益	7,811	8,900	10,100	10,000	28.0%	-1.0%
営業利益 (アジアJV等費用考慮前)	869	920	1,070	850	-2.2%	-20.6%
営業利益率 (アジアJV等費用考慮前)	11.1%	10.3%	10.6%	8.5%	-2.6pt	-2.1pt
アジアJV等費用	-	-50	-50	-50	-	-
営業利益	869	870	1,020	800	-8.0%	-21.6%
営業利益率	11.1%	9.8%	10.1%	8.0%	-3.1pt	-2.1pt
当期利益*	446	670	780	600	34.4%	-23.1%

今回予想(8月予想比分析)

- ・売上収益は、下記要因により概ね計画通りとなる見込み
 - 汎用は、一部地域を除いて各地域とも順調に推移
 - 自動車用は、日本・インドネシア・米州等をはじめ、世界的な半導体不足や新型コロナウイルスの影響に伴い自動車生産台数が各地域で想定を下回り、計画比で減収の見通し
- ・営業利益は、下記要因により計画を下回る見込み
 - 主に中国の汎用塗料における想定以上の原材料価格の高騰等による利益減、自動車用事業における減収による利益減、その他地域でのコロナ影響・原材料影響等
 - 販売価格の値上げ・代替品の調達・販管費の見直しなどの対策を実施するも、効果は途上

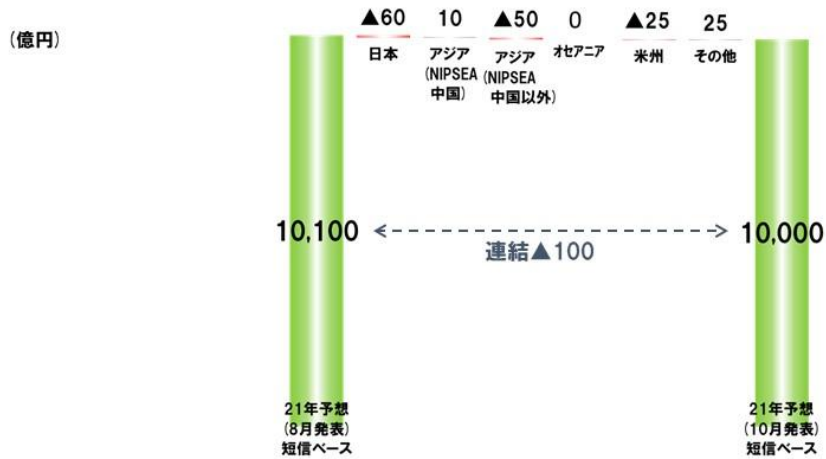
NIPPON PAINT GROUP ※親会社の所有者に帰属する当期利益

2

大枠としては先程申し上げた通りです。売上収益の見込みは8月予想比で-1%減少、営業利益、税引前利益、当期利益については8月予想比で-20%強の減少となります。

なお、為替前提は8月予想に適用したのから変更はありませんので、ある意味、ガイダンスとしては8月比で為替一定ベースとなります。

1-2. 売上収益 増減分析 (8月予想 vs 10月予想)



主な増減要因 (8月予想 vs 10月予想)

- ✓日本・米州 : 半導体不足や新型コロナウイルスの影響に伴う自動車生産台数の減少
- ✓NIPSEA中国 : 汎用は、DIY/Projectともに引き続き堅調に推移。
自動車用は、自動車生産台数の減少により見通しを修正
- ✓NIPSEA中国以外 : シンガポールグループやインドネシアでのロックダウンや、インドネシアにおける自動車生産台数の減少で見通しを修正

NIPPON PAINT GROUP

3

こちらは売上収益の8月予想からの修正内容です。

影響が最も大きいものは日本の-60億円で、その内訳としては自動車が最も大きいですが、建築用、船舶なども影響を受けています。

中国は+10億円ですが、汎用事業が若干のプラス、工業用事業で若干のマイナスとなり、全体では若干のプラスというイメージです。

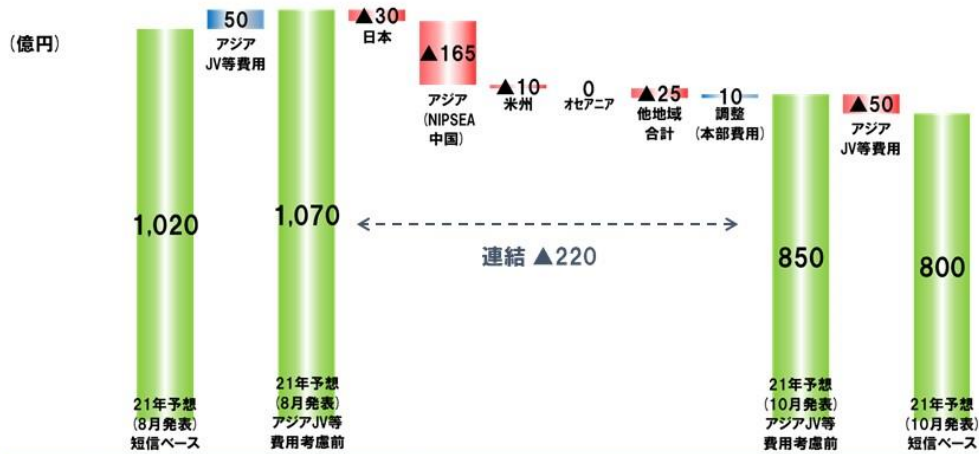
アジア（NIPSEA 中国以外）では、最も影響が大きいのは汎用事業と自動車用事業の両方を展開するインドネシアであり、続いてベトナムなどを含むシンガポールグループの影響が大きいです。

オセアニアは、ロックダウンや原材料高といった下方要因となる動きもありますが、ほぼ見通し通りの着地を予想しています。

北米については、汎用事業は堅調ですが、こちらでも自動車用事業が主たる下方要因です。

その他の Betek Boya 社は引き続き売上収益は堅調です。

1-3. 営業利益 増減分析 (8月予想 vs 10月予想)



主な増減要因 (8月予想 vs 10月予想)

- ✓日本・米州 : 主に自動車生産台数の減少による売上・利益への影響に加え、原材料価格の高騰も影響
- ✓NIPSEA中国 : 汎用塗料における想定以上の原材料価格の高騰等による利益減、自動車用事業における減収による利益減
- ✓他地域合計 : 原材料価格の高騰に加え、アジアでの新型コロナウイルスに伴う販売影響
- ✓調整 (本部費用) : 本部費用の継続的な見直しによる費用削減

NIPPON PAINT GROUP

4

こちらは営業利益の8月予想からの修正内容です。

日本が-30億円と、売上収益と同様に自動車用事業でのインパクトが最も大きいです。中国については、残念ながら-165億円と最大の下方要因となっています。現在の電力不足問題について、当社の工場操業に直接の影響はありませんが、原材料メーカーの供給能力には影響が出ており、こちらも原材料高騰の要因となっています。また、165億円には一部潜在的な引当も入れ込んでいますが、現段階では監査法人と合意したのではなく、あくまで社内試算を基にしている点、ご注意ください。

米州は同じく自動車用事業を中心に影響があり、そして他地域はアジア（NIPSEA 中国以外）とその他の合算とお考え下さい。

他地域については、地域ごとに見ると大きなものはあまりありませんが、例えば Betek Boya 社は増収ですが、原材料を輸入に頼っているため、リウ安の影響で8月比では減益を見込んでいます。

最後に調整（本部費用）ですが、こうした状況を鑑み、費用をさらに見直した結果、追加で10億円程度の削減を見込みましたので、2月時点の予想比で約70億円の削減となります。

1-4. 2021年通期 見通しの諸前提 (1)

		2020年度実績 (短信ベース)		2021年度見通し 2月予想*		2021年度見通し 8月予想*		2021年度見通し 10月予想*	
		売上 収益	営業 利益率	YoY 売上収益	YoY 営業利益率	YoY 売上収益	YoY 営業利益率	YoY 売上収益	vs 8月予想 営業利益率
日本	売上収益	1,596	10.1% (HD費用 除く)	+5%前後	→	+5%前後	↘	±0%	Slightly Below
	自動車用	347		±0%		+10%前後		±0%	
	汎用	437		+10%前後		+5%前後		+5%前後	
	工業用	353		+15%前後		+10%前後		+10%前後	
NIPSEA 中国	売上収益	2,681	16.4%	+10%前後	→	+30%前後	↘	+30%前後	Below
	汎用 (DIY)	2,160		+10%前後		+30%前後		+30%前後	
	汎用 (PRJ)		+20%前後		+30%前後		+30%前後		
	自動車用	318		+5~10%		+10%前後		+5~10%	
NIPSEA 中国以外	売上収益	885	12.5%	+5~10%	→	+20~25%	→	+20~25%	Below

NIPPON PAINT GROUP

※現地通貨ベース
5

1-4. 2021年通期 見通しの諸前提 (2)

		2020年度実績 (短信ベース)		2021年度見通し 2月予想*		2021年度見通し 8月予想*		2021年度見通し 10月予想*	
		売上 収益	営業 利益率	YoY 売上収益	YoY 営業利益率	YoY 売上収益	YoY 営業利益率	YoY 売上収益	vs 8月予想 営業利益率
インドネシア	売上収益	303	33.8%	(ご参考) +10~15%	→	(ご参考) +25~30%	→	(ご参考) +15~20%	Slightly Above
オセアニア	売上収益	1,483	11.6% (PPA償却前)	+0~5%	↗	+5%前後	→	+5%前後	Inline
米州	売上収益	701	6.4%	+5%前後	→	+5%前後	→	+5%前後	Slightly Below
	自動車用	210		+5~10%		+5%前後		±0%	
	汎用	465		+5%前後		+5~10%		+5%前後	
その他	Betek Boya	362	13.8% (PPA償却前)	+10%前後	→	+40%前後	↘	+45%前後	Slightly Below

【損益計算書 為替換算レート】 ※期中平均レート

※現地通貨ベース

	2020年		2021年	
	通期	通期 (2月発表)	通期 (8月発表)	通期 (10月発表)
円/米ドル	106.4	105.0	109.0	109.0
円/人民元	15.4	15.7	16.8	16.8
円/豪ドル	73.7	75.0	82.0	82.0
円/トルコ	15.2	14.0	13.2	13.2

NIPPON PAINT GROUP

6

P 5 , P 6 は非常に粗いものですが、表の一番右側に今回の予想を載せています。YoY 売上収益は2020年実績との比較です。8月予想と比較し、変更があるものには色のついた矢印を載せています。営業利益率は8月予想と比較し、さらに下方傾向にある場合は Below または Slightly below と表記していますので、ご参考にいただければと思います。

私からの説明は以上となります。ご清聴ありがとうございました。